

第47回全国自衛隊剣道大会の中止について

秋涼の候、各部隊におかれましては、日々任務に邁進されていることと存じます。

今年8月1日にホームページに掲載しました、第47回全国自衛隊剣道大会について、開催の方向で種々検討を重ねてまいりました。

この間、8月下旬には全国の1日の新規感染者数が2万6千人に達し、極めて厳しい状態が続きましたが、ワクチン接種の効果もあり減少に転じ、東京をはじめ11都道府県に出されていた緊急事態宣言も解除され、10月中旬には1日の感染者数が500人を切るまでになり、更に改善する兆しも見えてまいりました。

しかしながら、減少したとはいえ第45回大会を開催した当時の1日10名前後の新規感染者数には遠く及ばず、また今回の変異株による第5波の感染状況から、年末から来年にかけて新たな変異株による第6波の襲来も危惧されている状況です。

このように先の見通しを立てることが難しい状況ですが、大会準備の関係から現時点の状況で開催の可否を判断せざるを得ず、2年連続の大会中止を決定しました。

8月のホームページの内容、全日本剣道選手権大会をはじめ各種大会の開催から、第47回全国自衛隊剣道大会の開催を期待されていた隊員の方もおられたと存じますが、自衛隊の任務遂行を阻害することは大会の趣旨に反することから、苦しい決断ですが中止としました。

隊員の皆様におかれましては、日々の任務遂行を第一としつつ稽古に精進し、心身ともに充実した状態を維持されることを祈念します。

令和3年10月25日

全国自衛隊剣道連盟 会長 杉本正彦